

営農技術情報

－畑作（春まき小麦②）－

平成31年 4月26日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 Tel.01654-2-4524

JA道北なよろ Tel.01655-3-2521

JA道北なよろ営農センターTel.01654-3-4307

～適切に雑草対策を行い、生育量を確保しましょう～

1 は種および施肥量について

は種量は13～14kg/10aを目安に、できるだけ早急に、は種を行いましょう。

【表1 春まき小麦の基肥の目安】

土壌区分	基肥施用量 (kg/10a)			
	窒素	リン酸	カリ	苦土
低地土	8	12	8	3
泥炭土	6	14	9	4
台地土	9	14	8	4

2 雑草対策

スズメノカタビラ等、イネ科雑草が多いほ場では、土壌処理を行いましょう。

イヌカミツレやギシギシの発生するほ場では、「ハーモニー75DF水和剤」を散布するようにしまししょう。

【表2 春まき小麦の除草剤例 H31. 4. 25 現在】

除草剤名	対象雑草	使用時期	10a 使用量	使用回数
ガレーズ乳剤	1年生イネ科 スズメノカタビラ シロザ タデ類 ハコベ ナズナ スカシタゴボウ	は種後～出芽揃 (雑草発生前)	200～250ml	1
		小麦1～3葉期 (雑草発生前～発生始期)	100～150ml	
エコパートフロアブル	シロザ タデ類 ハコベ	小麦2～4葉期 (広葉雑草2～4葉期) (収穫45日前まで)	50～100ml	2
MCP ソーダ塩	シロザ タデ類 ハコベ ナズナ スカシタゴボウ	小麦5葉期 (雑草生育初期) (収穫45日前まで)	200～300g	1
バサグラン液剤		小麦5葉期 (雑草3～6葉期) (収穫45日前まで)	100～200ml	1
ハーモニー75DF水和剤		小麦の3～5葉期	3～5g	1

3 ムギキモグリバエについて

幼虫で越冬し、5月中旬～下旬に1回目の成虫が羽化し、小麦に飛来します。

6葉期頃まで加害しますので、生育状況に合わせて、防除を実施しまししょう。

【表3 ムギキモグリバエの防除薬剤例 H31. 4. 25 現在】

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数
スミチオン乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	1回以内
エルサン乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内